

第2節 歯科医師

ポイント

現状と課題

- ・人口10万人当たり歯科医師数は、本県60.9人、全国平均76.1人。全国平均を下回っているが年々増加している（H18.12月末）。
- ・高齢化の進行に伴い、高齢者の歯科保健医療の需要に対応する歯科医師の養成を図ることが必要。



対策

- ・生涯学習等の支援

< 現状と課題 >

本県の平成18年12月末現在の歯科医師数は536人で、平成12年と比較すると27人（4.8%）減少しており、全国平均の7.0%増加を下回っています。

また、人口10万人当たりでみると60.9人と、平成12年と比較して2.5人減少しており、全国平均の76.1人に比べても下回っています（表-1参照）。

表-1 歯科医師数の推移

（単位：人）
（各年12月31日現在）

	平成12年		平成14年		平成16年		平成18年	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
全国総数	90,857	71.6	92,874	72.9	95,197	74.6	97,198	76.1
山梨県総数	563	63.4	572	64.3	574	64.8	536	60.9
中北医療圏	328	69.6	338	71.2	340	71.6	325	68.3
峡東医療圏	86	58.2	85	57.0	88	59.9	78	53.8
峡南医療圏	34	50.7	38	57.6	36	56.3	33	53.2
富士・東部医療圏	115	56.9	111	55.2	110	55.3	100	51.0

資料：医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

地域別にみると、中北医療圏68.3人、峡東53.8人、峡南53.2人、富士・東部51.0人となっており、中北医療圏に歯科医師が最も多く集まっています。

高齢化の進行に伴い、高齢者に対する歯科保健・口腔保健の重要性が増しています。

今後、介護施設や在宅で療養する要介護者に対する訪問診療等に積極的に対応する歯科医師の養成が課題となっています。

また、医療技術の進歩に対応した歯科医師の生涯教育を図る必要があります。

< 対策 >

生涯学習等の支援

医療関係団体等が行う学術研究等に対する財政支援

歯科医師会と連携し、重要性が増している要介護高齢者等に対する歯科保健・口腔保健をはじめ、最新の医学知識、診療技術に係る研究会の開催等を支援していきます。

また、医療施設等との連携を密にし、施設等に入院・入所している要介護高齢者等が安心して訪問歯科診療を受けられるような体制づくりを支援していきます。

< 指標（数値目標） >

目標項目等	現状	平成 24 年度目標
訪問診療が可能な歯科医師数	112 人 (H20.2)	220 人
摂食・嚥下指導が可能な歯科医師数	15 人 (H20.2)	30 人